

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。


・お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

・お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

・お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でけがをする原因になります。

・感電やけがにご注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。

コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。



雷が鳴りだしたら金属部に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(⊕/⊖)表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。



電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用したらない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性・爆発性ガス/粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



混雑した場所（満員電車の中など）では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、電源を切る。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える可能性があります。



自動制御機器（自動ドアや火災報知機など）の近くでは電源を切る。

本製品からの電波が自動制御機器に影響を与える可能性があり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以上離すこと。

本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



電源プラグを抜く



水ぬれ禁止



風呂、シャワー室での使用禁止

お取り扱いにご注意ください

⚠ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。

火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

けがの原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

コンセントにつけたままにしておくとお火災の原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

一時的に視力に影響することがあります。

特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。



定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2 年に 1 度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。



フラッシュ発光部に指などを触れたまま発光しないこと。

やけどの危険があります。



フラッシュ発光部を汚したり、物でふさいだまま発光しないこと。

発煙や変色の原因になります。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について

- 充電は周囲の温度が 0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
- +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

電源プラグを抜く

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が + 15℃ ~ + 25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

⚠ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づいたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

☑ 単 3 形アルカリ乾電池、単 3 形ニッケル水素電池使用機種

■取扱上のご注意

- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。

- 外装チューブをはかしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性 (+ と -) に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池 (充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池)、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください (電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます)。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地 (+ 10℃ 以下) では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。



万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についていた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。



電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合は失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単 3 形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電電池放電機能をお試しください。「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
- ⚠ **注意** アルカリ乾電池使用時は「充電電池放電」機能を使用しないでください。
- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 「不活性」や「メモリー効果」は、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。

- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなる場合があります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。(懐中電灯などでの放電)。放電はカメラの「充電電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性がります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

お取り扱いにご注意ください

❶ 両機種 (❶、❷) 共通のご注意

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池 (リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など) はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるが、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。 <http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html>

■ AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- ・室内専用です。
- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
- ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音が発生することがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影 (結婚式や海外旅行など) をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害 (撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など) については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

- 液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
- ・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- ・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- ・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られており、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- ・デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フィルム (株) の商標または登録商標です。
- ・**SD**、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は富士フィルム (株) の商標です。
- ・DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- ・Macintosh、Mac OS、QuickTime は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・Windows 8、Windows 7、Windows Vista および Windows ロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- ・Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・SDHC ロゴ、SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- ・HDMI ロゴは商標です。
- ・mixi は株式会社ミクシィの登録商標です。
- ・YouTube は Google Inc. の登録商標です。
- ・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- ・本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- ・本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■避けて欲しい保存場所

- 次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。
- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
 - ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
 - ・極端に寒いところ
 - ・振動の激しいところ
 - ・油煙や湯気の当たるところ
 - ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
 - ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意ください

水や砂は本製品の最大敵です。このカメラは、水中で使用できる構造になっていません。ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などが本製品の内部に入らないようにご注意ください。また、水でぬれた場所の上には、本製品を置かないでください。バッテリー挿入部、メモリーカードスロット、端子類のカバー（蓋）は、使用前に確実に閉まっていることをご確認ください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（ゆづき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカード／内蔵メモリーについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊される場合があります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わら、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらしないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

- ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
- ・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- ・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただきます場合があります。

■メモリーカード、または内蔵メモリーをパソコンで使用する場合のご注意

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカード、または内蔵メモリーを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカード、または内蔵メモリーのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカード、または内蔵メモリーがカメラで使用できなくなることがあります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

お取り扱いにご注意ください

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

①本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ **本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。**

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ **無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国での利用を前提としています**

本製品の無線 LAN 機能はご購入求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。ご購入求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

電波によるデータ (画像) の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ **磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。**

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください (環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているもの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ **使用周波数帯**

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ **本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

・産業・科学・医療用機器

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

(1) 構内無線局 (免許を要する無線局)

(2) 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)

■ **本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、干渉距離が約 40 m であることを意味しています。